

# 杉村病院が担う役割について

平成31年3月5日



医療法人 杉村会 杉村病院

院長 乾 誠治

# 1 現状と課題

## 【基本理念】

地域の人々の健康を守り、地域の人々から愛され、  
社会に貢献できる病院を目指します

## 【基本方針】

- 1．心のこもった適正な医療サービスを提供します
- 2．十分な説明をし、同意を得るための努力を惜しみません
- 3．患者様のプライバシーを守り、個人の尊厳が保たれるよう努力します
- 4．患者様を診させていただくことに感謝の心を忘れません
- 5．高齢者の様々なニーズに細やかに対応します



# 1 現状と課題

## 【基本情報】

許可病床数：177床

ハイケアユニット入院医療管理料2	( 8床 )
急性期一般病棟入院基本料6	( 48床 )
回復期リハビリテーション病棟入院料3	( 39床 )
療養病棟入院基本料1	( 56床 )
介護病棟	( 26床 )

診療科：内科・代謝内科・循環器科・呼吸器内科・脳神経内科・  
脳神経外科・消化器科・外科・整形外科・  
リハビリテーション科

主な機能：救急告示病院 急性心筋梗塞急性期拠点病院  
急性心筋梗塞回復期医療機関 脳卒中回復期医療機関

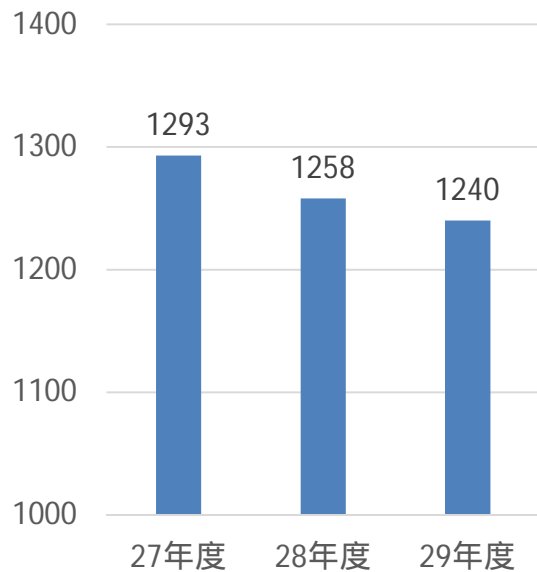
職員数：267名（平成31年2月現在）

（常勤医師 8名 看護要員 138名 その他専門職 75名）

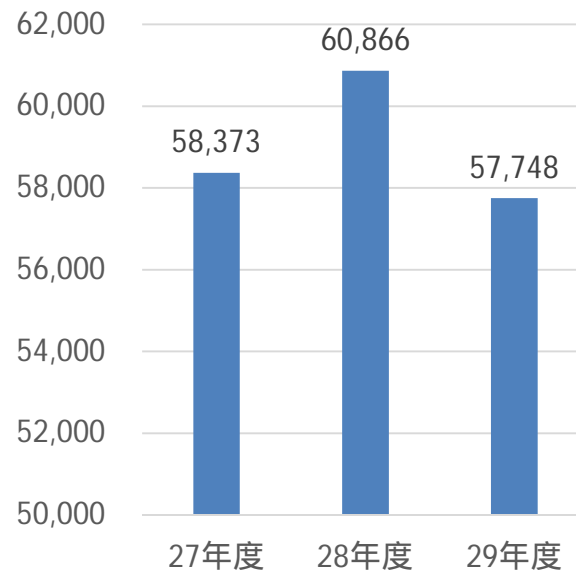
# 1 現状と課題

## 【診療実績】

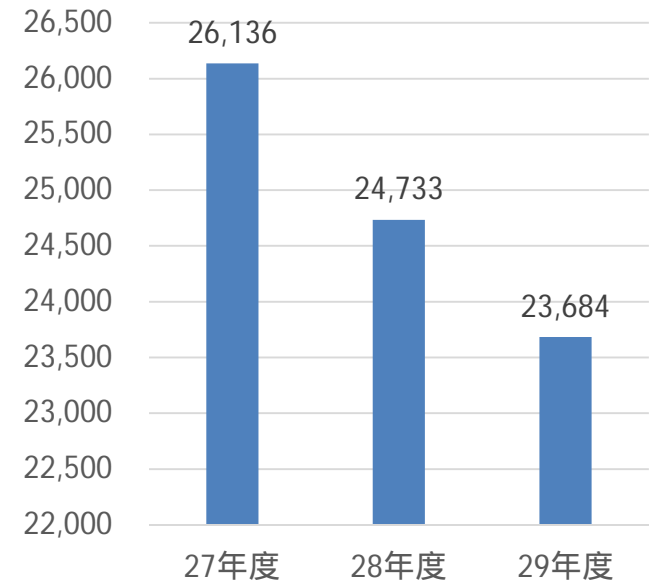
### 入院患者総数



### 入院患者延数



### 外来患者延数



### 入院経路割合

	27年度	28年度	29年度
外来	44%	33%	30%
紹介	32%	38%	34%
救急	23%	29%	36%

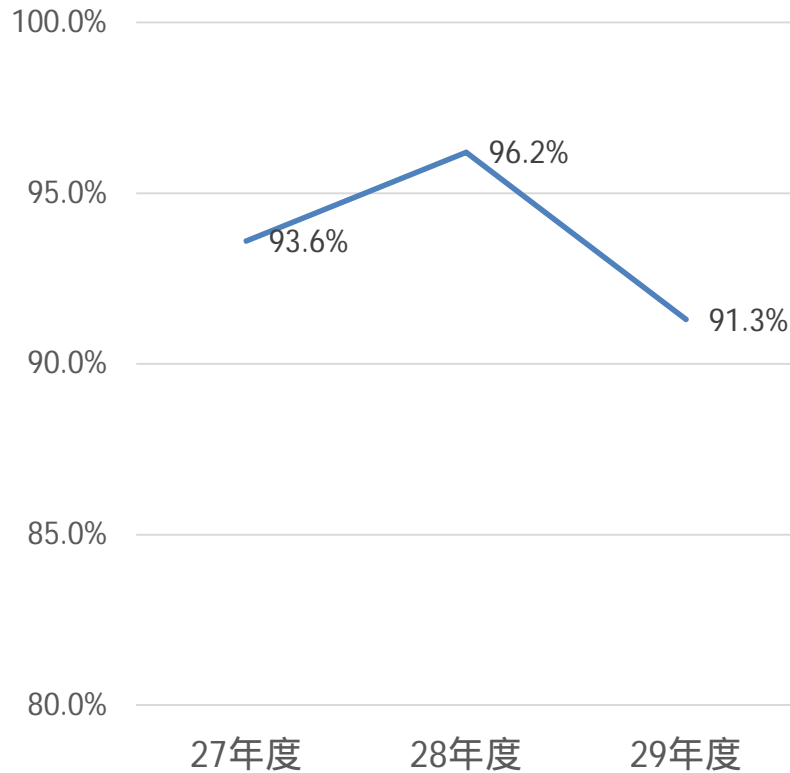
### 1日平均外来患者数

27年度	88.9人
28年度	84.4人
29年度	80.8人

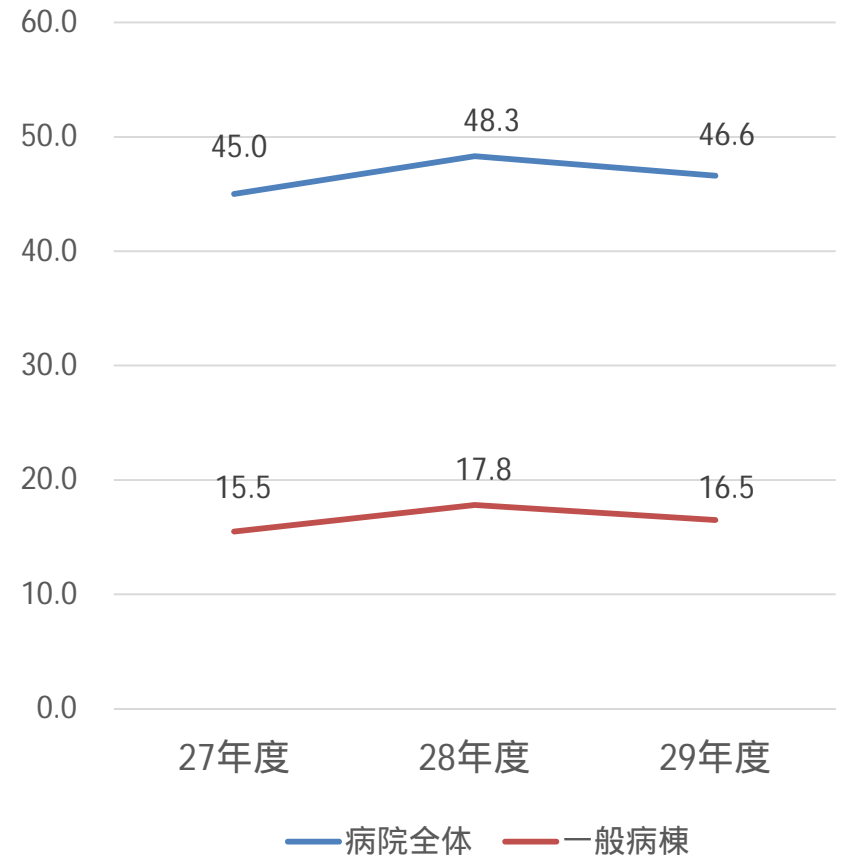
# 1 現状と課題

## 【診療実績】

### 病床稼働率



### 平均在院日数



# 1 現状と課題

## 【担う政策医療】

### 急性心筋梗塞急性期拠点病院

#### 経緯と特徴

2009年6月 増え続ける心筋梗塞、狭心症などの心疾患及び全身の血管病に対応する為、県内の大規模病院以外では初めて心臓血管治療部開設

画像検査等を速やかに行い、迅速な診断と患者の生活スタイルに合わせた治療

緊急カテーテル治療の実施など救急体制の充実

急性期治療のみならず、亜急性期から慢性期までのシームレスな医療提供

退院後の通院やリハビリ、2次予防など長期的フォロー

熊本大学代謝内科学教室との連携により、動脈硬化のリスクファクターに対するコントロールと専門ドック（心臓ドック）を含めた未病の段階で病気の兆候を早期発見する1次予防

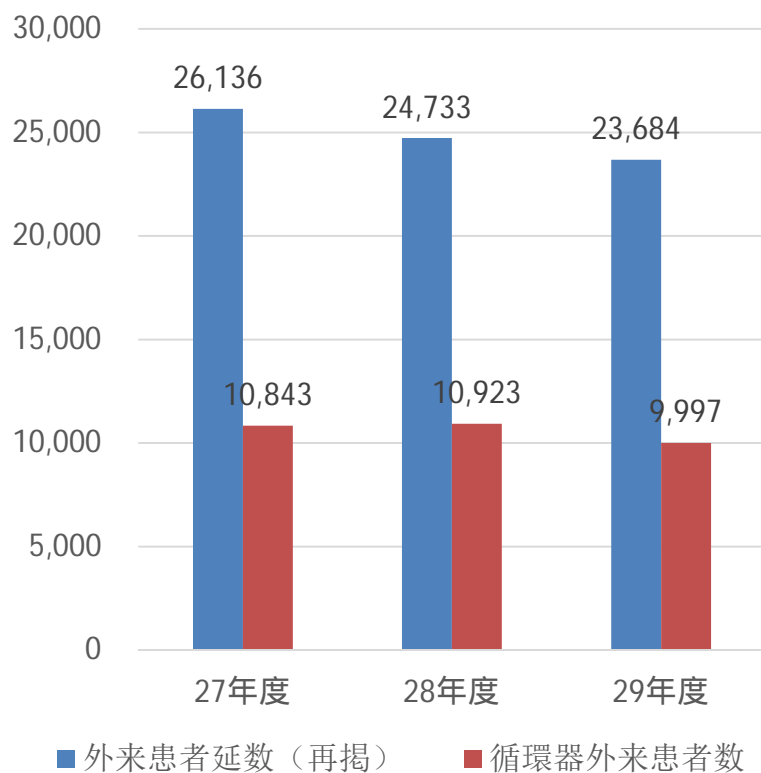


# 1 現状と課題

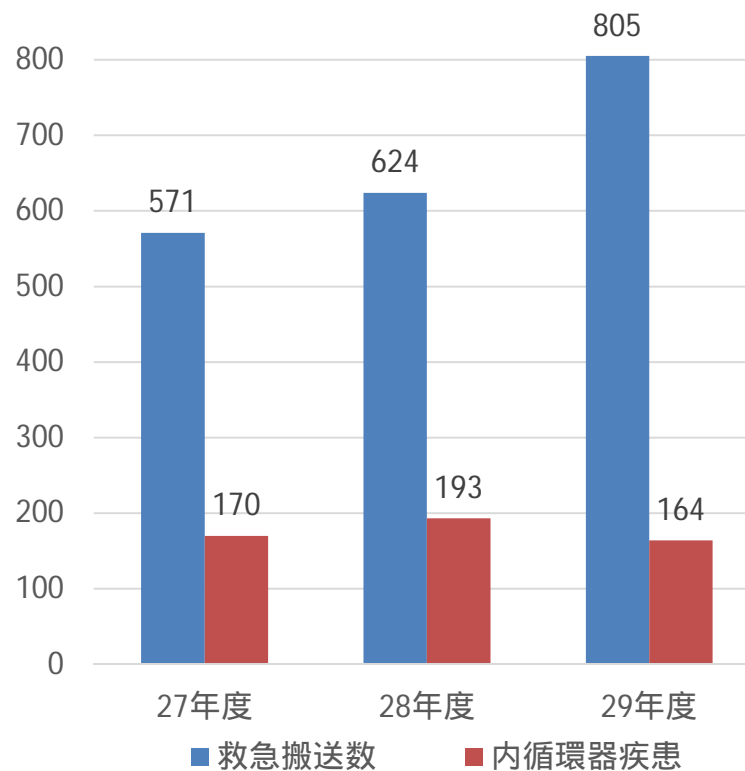
医療政策

## 【診療実績】

### 外来患者延数



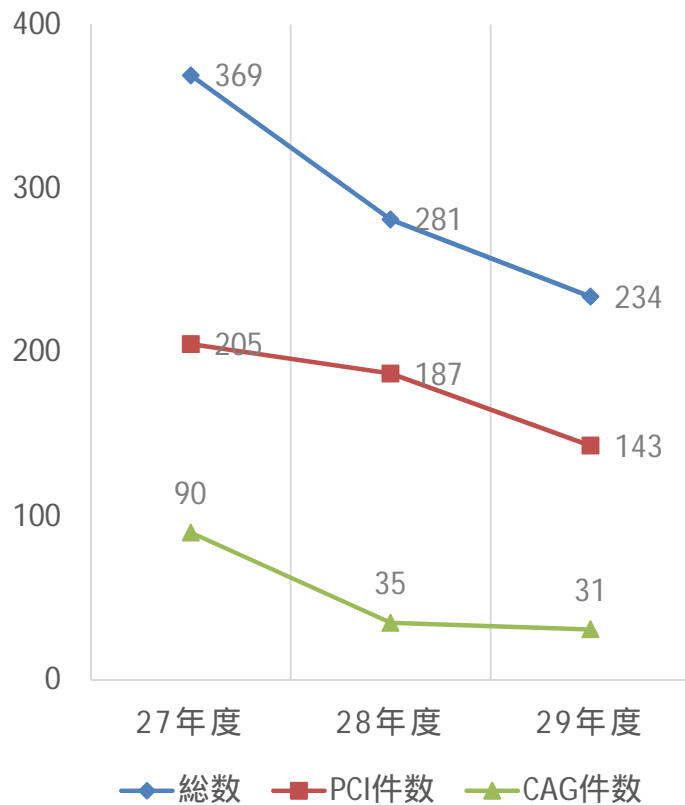
### 救急搬送数



# 1 現状と課題

## 【診療実績】

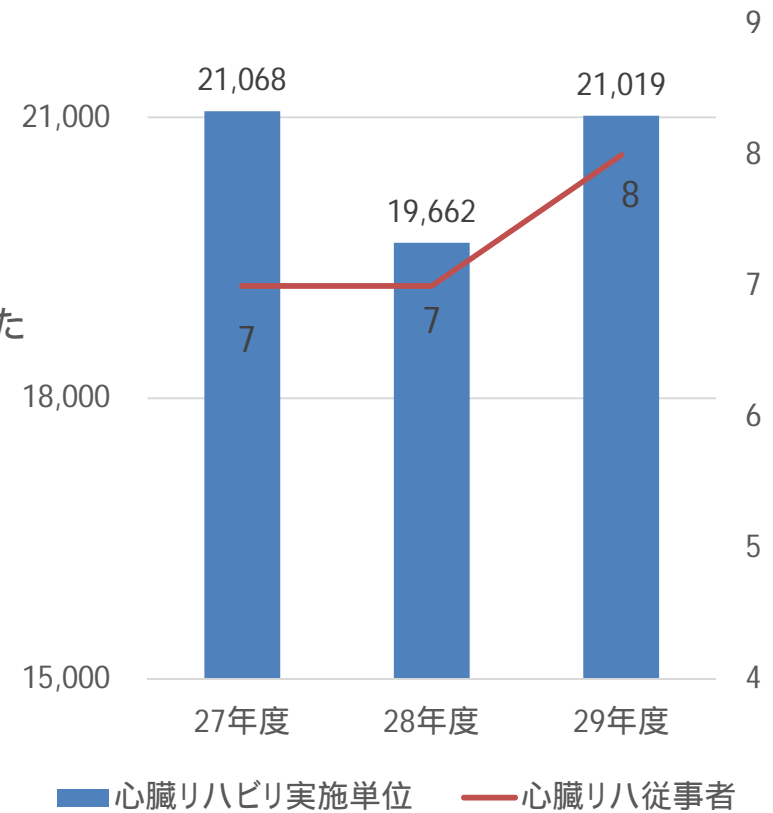
### カテーテル実績



### 心臓リハビリテーション実績

当院でこれまで実施した  
カテーテル検査・治療

- PCI
- PPI
- CAG
- PMI
- Ablation
- その他





## 2 今後の方針

### 【政策医療において今後担うべき役割】

#### 当院に求められる役割

熊本県内とりわけ熊本市内の循環器医療における当院の役割と位置づけは、民間病院だからできる小回りの利く患者ニーズに合わせた急性期医療の提供と、大規模病院では十分な時間をかけられない亜急性期から慢性期の患者の病態とニーズに合わせた医療を提供できること。

#### 方針と課題

##### 高次医療機関等との連携強化

当院の役割と位置づけを明確化することで、高次医療機関や大規模病院等との連携強化をさらに図り、他院で急性期治療を受けられた患者等の速やかな転院受け入れに積極的に対応していく

##### 循環器内科専門医の確保

現在、専門医3人体制であり、患者ニーズに合わせた急性期診療体制の維持のためには、循環器内科医師の増員が不可欠

##### 救急受け入れ体制の強化

今年度の医師減少に伴い、夜間や休日における重症循環器疾患受け入れと緊急カテーテル治療が厳しいため、医師増員後、体制を再整備する

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【 4 機能ごとの病床のあり方 その1 】

単位：床

病床機能	2018年(平成30年)	2025年
高度急性期	8	8
急性期	48	48
回復期	39	121
慢性期	82	0
その他		
合 計	177	177

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

1956年の開業当時より、地域のニーズに合わせて、救急医療、慢性期疾患、糖尿病をはじめとする内科診療など病院機能を時代に合わせて変化させてきた。

2009年に心臓血管治療部を立ち上げて以来、心筋梗塞や重症心不全など高度急性期～急性期患者を幅広く受け入れる機能を拡充するとともに、1次・2次救急医療機関として救急医療にも取り組んでいる。

common diseaseを診る総合診療としての役割にも重点を置くことを忘れず、回復期、地域包括ケアの拡充も行い、高度急性期、急性期～回復期、慢性期まで切れ目のない“一貫性のある医療”が提供できる特色ある病院として、微力ながら地域医療に貢献している。

### 3 具体的な計画

## (1) 今後提供する医療機能に関する事項

### 【 4 機能ごとの病床のあり方 その3 】

高齢化がさらに進展する今後の医療需要を見据え...

『全身血管病のトータルケア』を目指す

心臓・大血管だけでなく、脳血管を中心に、さらに末梢血管を含めた全身の血管病にトータルに対応していく。

治療後も患者がしっかり自立できることを目標に、リハビリテーションを充実させ、社会復帰までしっかりサポートしていく。



回復期： 39床 121床へ増床予定

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【 診療科の見直し 】

	現時点 (2019年3月時点)	2025年	理由・方策
維持	循環器内科・内科・ 代謝内科・脳神経内科・ 消化器内科・呼吸器内科・ 外科・消化器外科・ 脳神経外科・整形外科・ リハビリテーション科	左記同様	
新設	なし	なし	
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2018年12月時点)	2025年
病床稼働率	87.3%	95.3%
紹介率	11.5%	50%
逆紹介率	12.4%	50%

# 3 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

### 【取組みと課題】

#### 医師の適正配置

- ・循環器内科をはじめとした各診療科医師の確保、適正配置
- ・熊本大学との連携強化で医師派遣の確保

#### 入院患者の増加

- ・1次・2次救急をできるだけ断らない
- ・地域の医療、介護、福祉施設等との更なる連携推進・強化でご紹介患者の速やかな受け入れ
- ・外来からの入院増加につながるシステム改善

#### 効率的な病床運営

- ・介護療養病床廃止と当院の役割に応じた速やかな病床転換
- ・病態に応じた適切なベッドコントロールの一元管理

#### 脳卒中・神経疾患領域の診療体制構築

- ・専門性の高い医療提供に向け、医療機器等の整備と人材確保、育成

#### 患者満足度向上に向けた取組み

- ・ハード、ソフト両面での改善